



本年7月28日、山口・島根両県を未だ経験したことのない記録的な豪雨が襲いました。山口県の萩市須佐では一時、すべての主要道路が寸断され孤立する集落が発生、ライフラインも止まり、停電や諸設備の崩壊によって通信も寸断されるなど、未曾有の災害は多くの爪痕を今も残しています。

長州神楽は島根県の石見神楽の流れを組み、明治時代に益田から来られた山伏によって伝えられたとされています。現在、石見神楽はテンポの早い8調子が主流となっていますが、ここでは優雅で緩やかな6調子が現存しており、伝わった当時の姿を残す貴重な神楽となっています。

長州神楽を継承する田原保存会は萩市須佐弥富地区にあり、過疎化、高齢化による後継者不足に悩まされてきました。そこにこの度の豪雨です。地域の公会堂に保管していた衣裳や小道具のほとんどが壊滅。歴史的にも文化的にも貴重な本州最西端の石見楽である長州神楽は存続の危機に直面する事態となりました。



このたび、萩ユネスコ協会青年部では、長州神楽田原保存会の活動に協力することといたしました。被災した物品にかわる物的な援助、長州神楽の伝統と価値の市民への広報など、できることからはじめていきたいと考えております。皆様のご理解とご協力を、宜しくお願いいたします。